

2024年国内事前会合に向けて

1. プログラム委員会の状況

プログラム委員応募者: 加藤、前村

参考: (igf2021:372) プログラム委員会の進め方(案)

	内容	備考
	T1 プログラムの大枠設計	
	T1-1 イベントの色付け	[上位組織＝活発化チームの仕事]
	T1-2 イベント全体構成	
	T2 公募セッションの募集・決定	
	T2-1 公募要領作成	
	T2-2 公募	
	T2-3 評価委員会の設置	
	T2-4 評価	
	T2-5 合格提案のフォロー	
	T3 公募セッション以外のセッションの決定・登壇者決定	
	T3-1 ゲストスピーチ1～s	
	T3-2 企画セッション1～u	
	T4 各セッションが成功するよう個別セッションの設計・開発を支援	

2. スケジュール案

- イベントの位置づけの決定 本日
- プログラム委員会の始動 本日
- テーマ公募 8月中
- テーマセッション公募および選定 9月中
- キーノート／企画セッション構築 10月中
- 本番 11月5日の週

3. 参考: IGF2022事前会合「日本インターネットガバナンスフォーラム2022」の概要

- 開催趣旨、開催概要、プログラム <https://japanigf.jp/meetings/2022-igf2023>
- セッションサマリー <https://japanigf.jp/meetings/2022>

4. イベントの位置付け [T1-1 イベントの色付け]

- グローバルのIGFの国内版(似たテーマを積極的に扱う)か、日本独自のイベント(日本固有のテーマを積極的に扱う)か？
 - 2023年は前者だった。2022年までは後者。
 - 公募セッションは、提案する人の関心に沿ったもの(日本のローカルコミュニティで重要な論点)にする。グローバルで話題になっていることも、企画セッションなどで拾うようにもする。
- NRIとしての見せ方
 - セッションオーガナイザーにとっては、UNIにレポートするというほうが印象がよい？

5. 全体テーマ

- 設定するか？
- 設定するとして、そのテーマにどのような位置づけを与えるか？
 - 企画セッションや、公募セッションの内容を、テーマに合わせるのか
 - テーマに関連しないものは認めない >>> テーマに関連しなくてもよいが、そういうものを優先する、までのどこを想定するか？
 - 「インターネットガバナンス」では通じないので、日本人の気を引くようなテーマがよいか？
- 設定方法
 - 公募する
 - 活発化チームで決める
 - プログラム委員会で方向性を出した上で活発化チームに選んでもらう
 - プログラム委員会だけで決める